

「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立江北桜中学校 校長 保坂 朗

| | 新 継 | アクションプラン | 対象・実施教科 | 頻度・実施時期 | 具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように> | 達成確認方法 | 達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度> |
|---|--------|------------------------------|----------|---------------------|--|--|--|
| 1 | 継続 | 学習コンテスト (漢字・計算・スペリン グ) | 全学年 | 年3回 | 【指導体制】全教員 【取り組みのねらい・内容】 国語（漢字）・数学（計算）・英語（英単語）の 学習方法を身につけ、基礎的な内容の定着を図 ると同時に、生徒に達成感を持たせ、自己肯定 感を高める。 プレテストで合格点に達していない生徒につい ては、学年教員によるグループ指導を行う。 | プレテスト 本テストの実施 | 合格率80%をめざ す。 |
| 2 | 継続 | 家庭学習（ノート）の充実 | 全学年 | 毎日 | 【指導体制】全教員 【取り組みのねらい・内容】 学習の基本となる授業内容の理解と定着を図 る。 毎日1ページ以上の家庭学習を行い、始業時に 提出、午前中に点検し、返却する。一人ひとの 学習の状況に応じて、学習内容のアドバイスを 行う。 実施できていない生徒には、その日のうちに確 実に学校で学習させる。 | 毎日のノート点 検 | 提出率100%を完全実 施する。 |
| 3 | 継続 | 家庭学習 (国語受験問題)の充実 を図る | 3年 国語 | 10回 (4月～11 月) | 【指導体制】教科担任(国語) 【取り組みのねらい・目的】「要点の整理」付 き練習問題集を計画的に取り組むことで国語力 の向上を図る。 【使用教材】問題集1冊 | 4回の定期テス トに問題を探り 入れ、達成度を 確認する。 | 全10回の提出率 90%。各定期テストに おける正答率70%の5 割達成をめざす。 |

| | | | | | | | |
|---|----|---------------------|------------|----------------------------------|--|--|---|
| 4 | 継続 | 国語ベーシック (朝読書) | 全学年 国語 | 6・11・2月 始業前10分 | <p>【指導体制】担任</p> <p>【取り組みのねらい・目的】読んだ本の中から1冊選び、感想文を200字以内で書く。内容を踏まえ、自身が感じたこと、考えたことを丁寧に自分の言葉で述べる。</p> <p>【使用教材】絵本や漫画本、辞典等以外の書籍類。</p> | 読書カード。評価基準にそって評価する。 | 全員提出100%。B以上の評価9割以上をめざす。 |
| 5 | 継続 | 漢字力向上 (小テスト) | 全学年 国語 | 週1～4回 (5分程度) | <p>【指導体制】教科担任 (国語)</p> <p>【取り組みのねらい・目的】漢字力の向上。「書ければほぼ読める・大まかな意味も把握できる」をねらいとする。</p> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークの漢字練習のページをもとに範囲表を作成し、小テストを実施。 1回の範囲を15問程度で区切り、そのうちの10問を出題。例文を聞き取って書く方式。 テスト実施後、短時間の練習。 テストまとめ用冊子を作成。答案・練習用紙の貼付、得点の記録。 | 10回で1ステージとし、終了したら、「小テストの振り返り」を生徒自身に行わせる。 | 1ステージを通して平均7点以上 (正答率70%) の5割達成をめざす。 |
| 6 | 継続 | 読解力向上 | 1・2年 国語 | 各単元終了後 | <p>【指導体制】国語科</p> <p>【取り組みのねらい・目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解力・応用力強化 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の学習 (ワーク) 等 | 習った範囲の問題を解かせ、問題を選んで解説する。 | 類似問題を定期テストで出題し、正答率60%達成を目指す。 |
| 7 | 継続 | 数学ベーシック (数学Week) | 全学年 数学 | 数学Week (毎月土曜授業のある週) の火～金の始業前10分間 | <p>【指導体制】担任</p> <p>【取り組みのねらい・目的】現在取り組んでいる単元の内容の基礎の確認を行う。学力低位層はヒントを基に自ら課題に取り組みせ、中位層～上位層は計算力の向上を図る。</p> <p>【使用教材】市販教材『数学のサポーター』</p> | 土曜授業の始業前10分間でまとめテストを実施 | 毎回のまとめテストに目標値 (60～80%程度) を設定し、放課後補充を含めて全員合格させる。 |

| | | | | | | | |
|----|----|---------------------|--|-------------------------------------|--|--------------------------|---------------------------|
| 8 | 継続 | 数学レベルアップ塾 | 3年 15名程度 数学 | 毎週火・木曜 の放課後 | <p>【指導体制】各学年数学科、学習支援ボランティア</p> <p>【取り組みのねらい・目的】学力中位層の生徒に声かけを行い、少人数で反復・確認を行い、基礎学力の向上を図る。</p> <p>【使用教材】プリント教材</p> | 単元ごとの確認テストの実施 | 単元ごとの確認テストで全員達成率100% |
| 9 | 継続 | 英語ベーシック (英単語) | 全学年 英語 | 毎月第2週火 ～金 始業前10分 | <p>【指導体制】担任、学年教員</p> <p>【取組のねらい・目的】基本的な語彙の習熟と定着</p> <p>【使用教材】 英単語オリジナル教材</p> <p>【手順】週毎にレベルを指定。</p> <p>①全員で単語を読み上げ発音確認 ②ペアで口頭試験をする ③単語を書き取る練習 ④定着テストを行う</p> | 金曜にレベルごとのテスト実施 | 80%以上の得点で合格とする。全員の合格を目指す。 |
| 10 | 継続 | 英語ベーシック (ワードサーチ) | 全学年 英語 | 本校で指定された英語担当週で実施可能日が4日未満の時や1学年の初期導入 | <p>【指導体制】担任、学年教員</p> <p>【取組のねらい・目的】語彙の拡充と定着</p> <p>【使用教材】Enjoy Wordsearch (本校オリジナル)</p> <p>【手順】パターン1 (入門期) : ワードサーチを解く。 パターン2 : ワードサーチを作成する。 翌日はペアで問題を交換し、解く。</p> | 学期に2回 | 実施生徒100%をめざす。 |
| 11 | 継続 | 英語 放課後補充 | 全学年 上記英語ベーシック (英単語) で正答率80%未満の生徒、教科内での小テスト等で不合格の生 | 放課後補充実施日 | <p>【指導体制】当該学年英語科教員、学年教員</p> <p>【取組のねらい】理解が不十分な生徒へのフォローアップ、学習方法に関するカウンセリングとアドバイスおよび実践を図るため。</p> <p>【使用教材】ワークシート、アルファベットカード、センテンスビルディングカード (本校オリジナル)</p> | ベーシックタイム (英語) を行った翌週年15回 | 目標値80%を設定し、全員の合格を目指す。 |

| | | | | | | | |
|----|----|-------------------|-----------------------------|------------------|---|--|--|
| | | | 徒や個別指導が必要な生徒 英語 | | | | |
| 12 | 継続 | 英語 放課後補充 | 1年 英語 | 放課後補充実 施日 | 読解課題、塗り絵、読解に必要な既存知識を増やす単語練習、英語を素早く正確に書き取る練習 | 放課後補充実 施 日 | 授業と連動して取り組ませる。 |
| 13 | 継続 | 基礎学力定着（単元テスト） | 全学年 社会 | 年10回程度 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 大單元ごとに、基礎的な内容の定着を図るために、小テストを実施する。 | 授業内で小テ ストを実施する。 | 正答率70%をめざす。 正答率80%以上の生徒数を全体の50%にすることをめざす。 |
| 14 | 継続 | 理科学用語理解 | 全学年 理科 | 毎時 | 理科学用語で用いられる漢字の意味を紹介する。機械的な暗記にするのではなく、漢字のもつ意味をかみしめながら、理科学用語を学ぶ。 | 小テストや定期 テストでの正答 状況 | 小テストや定期テストでの正答率60%を目指す |
| 15 | 継続 | 基礎学力定着 （単元テスト） | 全学年 理科 | 単元の区切り （5分程度） | 【指導体制】教科担任（理科） 【取り組みのねらい・目的】 基礎力の向上をねらいとする。 【使用教材】 ・單元ごとの市販の小テストを実施。 ・テスト実施後、相互採点、得点の記録。 ・家庭学習ノートに小テストの内容を書かせ、反復学習に取り組ませる。 | 小テストの振り 返りを生徒自身 に行わせる。 | 正答率60%を目指す |
| 16 | 継続 | 音楽 実技補習練習 | 全学年 音楽 技能の習得に時間が必要な生徒 | 期末2回 放課後 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 理解に時間がかかる生徒、技能の習得に時間がかかる生徒がいるので、一つ一つの課題を出来るようになるという成功体験を積みませ、次の活動の意欲を高める。 | テスト （技能の確認） | 学期末までに実技評価B以上の生徒、90%以上をめざす。 |
| 17 | 継続 | 音楽の基礎力をつけよう | 全学年 音楽 | 学期に1回 放課後 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 ①題材毎に、学習内容の理解を深める目的で、小テストを実施し、くり返し実施することで、学習内容の定着を図る。 ②音楽活動に必要な基礎的な力【読譜力】の向上をめざし、クラス・学年・全校全体で、より良い音楽活動をめざし、楽譜が読 | 授業内で小テ ストを行い、目 標値に達成しな かった生徒を対 象に、学習を行 い、再テストを 実施する。 | 全員が、正答率80パーセント以上をめざす。 |

| | | | | | | | |
|----|----|----------------|--------------------------------------|--------------|---|-----------------|---------------------------------------|
| | | | | | めない、わからないという生徒をなくし、意欲的に音楽の学習に取り組めるようにする。 分野別のテストを基に、放課後再テスト、もしくは学習を行う。 | | |
| 18 | 継続 | 美術 実技補習練習 | 全学年 美術科 制作進度の遅れにより作品が完成していない生徒 | 課題末2回 放課後 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 制作進度の遅れから、自らのイメージを最後まで追求できない生徒に対し、納得のいくまで制作し、自身の美意識の追求と達成感を味わうことによって、次の課題への意欲や美意識の向上を培う。 | 作品鑑賞 (技能の確認) | 学期末までに関心意欲、創造的な技能の評価B以上の生徒、80%以上をめざす。 |
| 19 | 継続 | 保健体育 保健分野補習 | 全学年 | 各定期考査前 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 定期テスト前に補習を行い、各内容の復習を行う。重要事項の確認をし、テストに臨ませる。 | 定期テスト結果 | 保健分野 70%の正答を全員がクリアできるようにする。 |
| 20 | 継続 | 技術家庭 補習製作 | 全学年 技術・家庭科 (技術分野) 作業進度遅れ | 学期末3回 放課後 | 【指導体制】教科担任 【取り組みのねらい・内容】 作業進度の遅れから、やる気をなくさないよう、次の授業までに作業の遅れを取り戻し、授業中に行う作業工程や説明を理解できるようにする。 | 作品点検 | 年度末までに生徒一人ひとりの製作目標の達成率が90%以上を目指す。 |